

2017年3月期 決算説明会

2017年6月1日

ニチュ三菱フォークリフト株式会社

2017年3月期の 決算概要

取締役社長 二ノ宮秀明

1. 決算ハイライト

(単位：億円)

	2016年3月期	2017年3月期	前年同期比増減	
売上高	2,425	2,710	285	+11.7%
営業利益 (のれん償却前) (営業利益率)	100.9 (4.2%)	131.4 (4.8%)	30.5	+30.2%
のれん償却	—	▲26.3	▲26.3	—
営業利益 (営業利益率)	100.9 (4.2%)	105.1 (3.9%)	4.2	+4.2%
経常利益 (経常利益率)	96.0 (4.0%)	89.8 (3.3%)	▲6.2	▲6.5%
当期純利益 (当期純利益率)	47.1 (1.9%)	36.4 (1.3%)	▲10.8	▲22.9%
総資産	1,922	3,669	+1,748	+90.9%
総負債	1,340	3,069	+1,729	+129.1%
純資産	582	600	+18	+3.1%

* 2017年3月期の経常利益、当期純利益はユニキャリア持分法投資損失▲17.8億円のため、前年同期で減少している

2016年3月期実績レート： USD=120.14円 EUR=132.58円 CNY=18.85円

2017年3月期実績レート： USD=108.38円 EUR=118.79円 CNY=16.11円

2. 決算のポイント

売上高

前年同期比 + 285億円 11.7%増収

-  ユニキャリア社（以下UC）連結による増 +490億円
-  国内バッテリーフォークリフト需要伸長等 + 11億円
-  MIX・中国・新興国等の販売減 ▲ 26億円
-  円高進行による為替換算影響等 ▲190億円

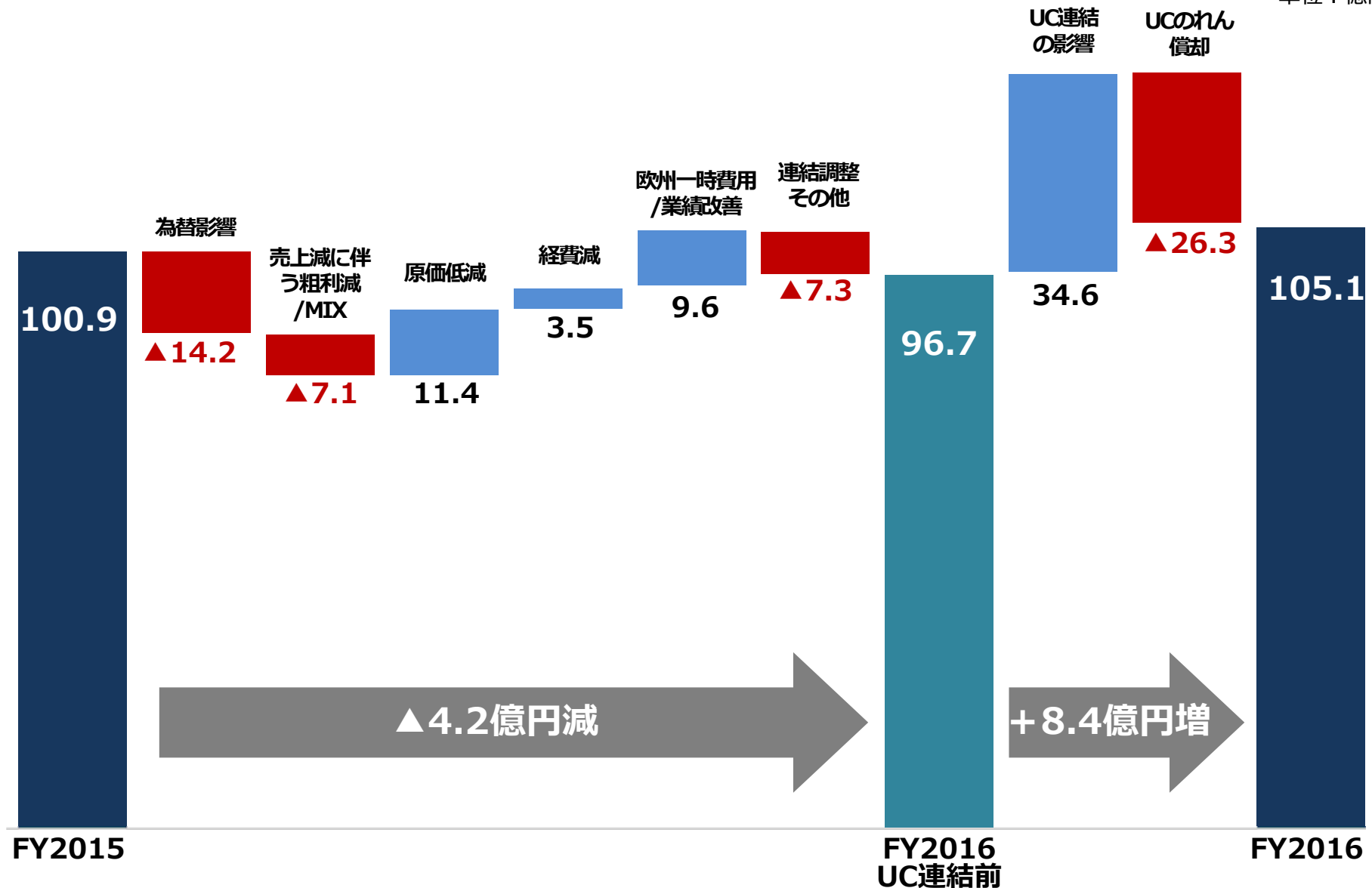
営業利益

前年同期比 + 4.2億円 4.2%増益

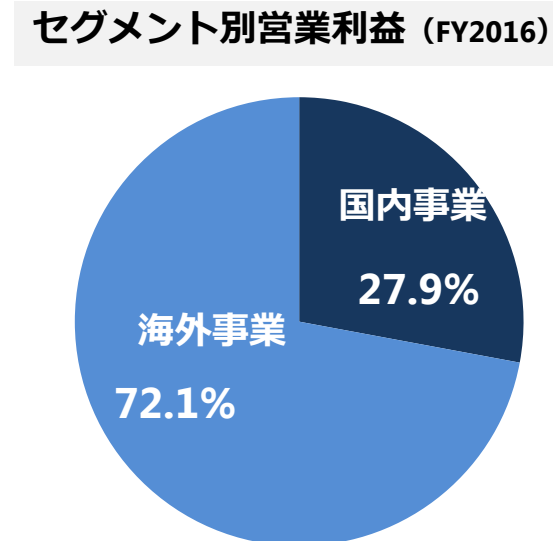
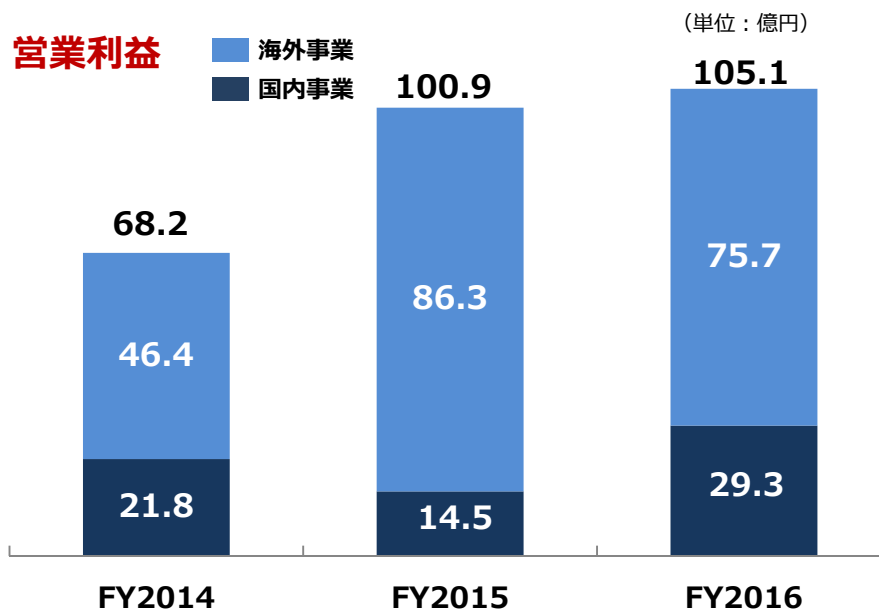
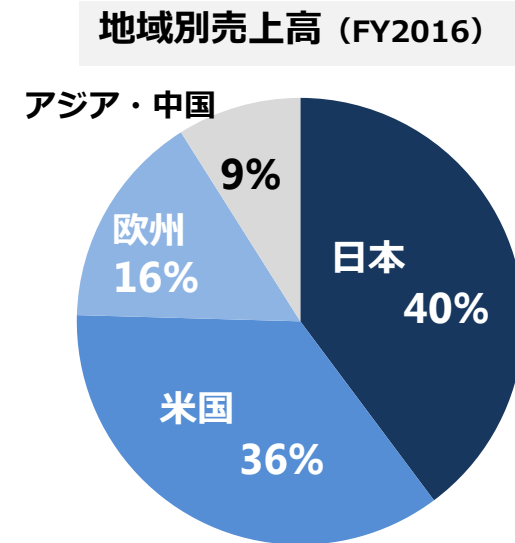
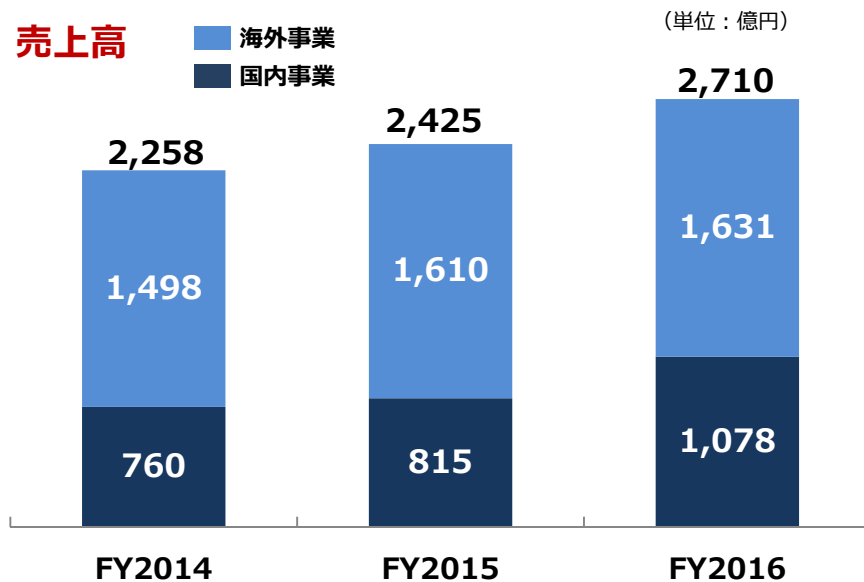
-  UC連結による増（営業利益－のれん償却） + 8億円
-  原価低減・経費削減等 +17億円
-  MIX・売上減に伴う粗利減等 ▲ 7億円
-  円高進行による為替換算影響等 ▲14億円

3. 連結営業利益増減要因（2016年度実績 vs 2015年度実績）

単位：億円

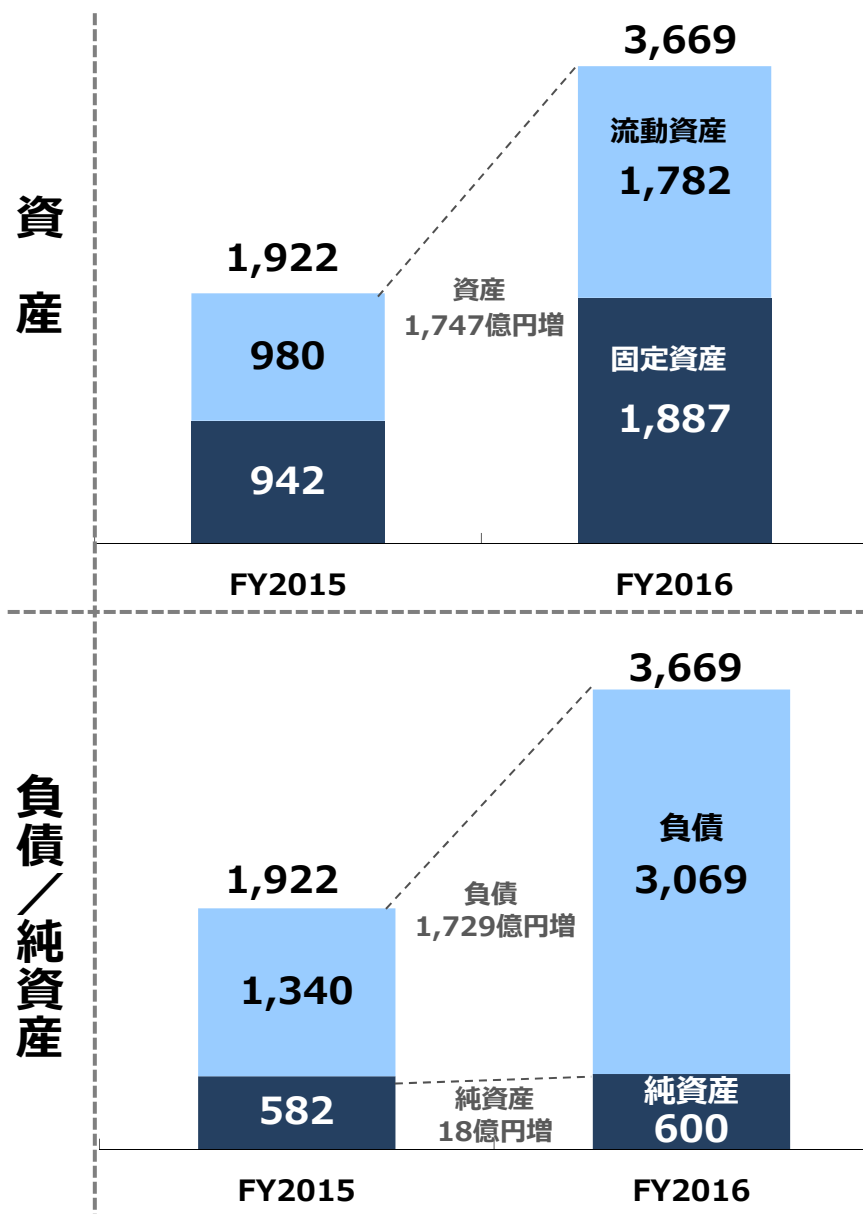


4. セグメント別業績



5. 連結貸借対照表

(単位：億円)



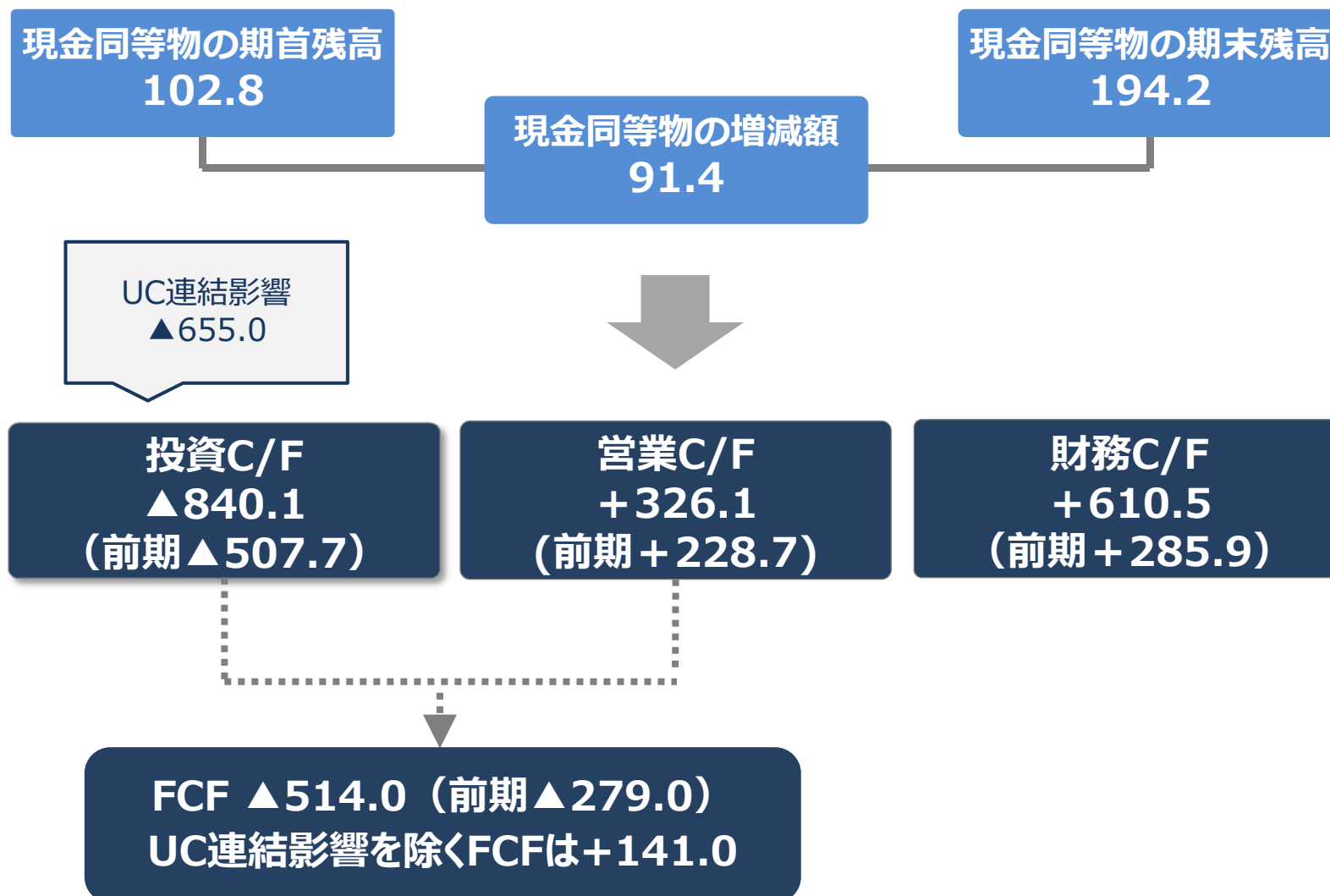
項 目	FY2015	FY2016	増減
流動資産	980	1,782	+802
(有形固定資産)	447	910	+463
(無形固定資産)	59	860	+801
(投資その他)	495	117	▲378
固定資産計	942	1,887	+945
資産合計	1,922	3,669	+1,747

項 目	FY2015	FY2016	増減
流動負債	1,197	1,516	+319
固定負債	143	1,553	+1,410
負債合計	1,340	3,069	+1,729
純資産合計	582	600	+18
負債・純資産合計	1,922	3,667	+1,747

6. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

フリー・キャッシュフロー(FCF)は+41.7億円の改善 (UC影響除く)



7. 2018年3月期通期業績見通し

(単位：億円)

	2017年3月期 (実績)	2017年3月期 (仮想連結)	2018年3月期 (予想)
販売台数	75,000台	108,000台	115,000台
売上高	2,710	3,969	4,100
営業利益 (のれん償却前) (営業利益率)	131 (4.8%)	166 (4.2%)	185 (4.5%)
のれん償却	▲26	▲99	▲95
営業利益 (営業利益率)	105 (3.9%)	67 (1.7%)	90 (2.2%)
経常利益 (経常利益率)	90 (3.3%)	63 (1.6%)	80 (2.0%)
当期純利益 (当期純利益率)	36 (1.4%)	14 (0.4%)	35 (0.9%)
1株あたり配当	11円	—	11円

2017年3月期実績はUCを4Q(3ヶ月)のみ連結、2017年3月期仮想連結はUCを通年で連結した場合の試算値

2017年3月期実績レート： USD=108.38円 EUR=118.79円 CNY=16.11円

2018年3月期計画レート： USD=105.00円 EUR=120.00円 CNY=15.50円

8. 2018年3月期通期業績見通しのポイント

売上高

前年同期比 +1,390億円 51.3%増収

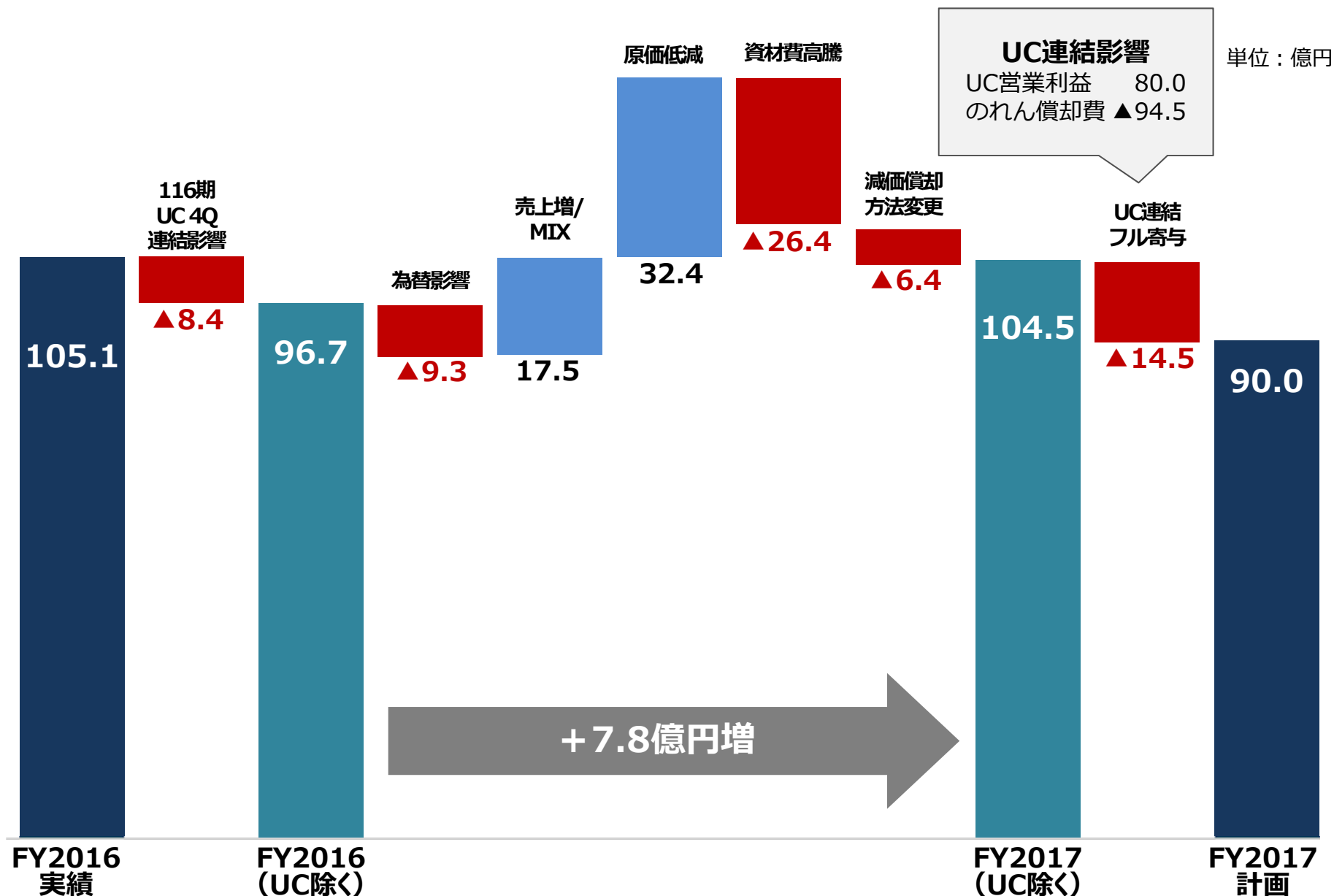
-  UCフル連結による増 +1,290億円
-  海外事業増（UCとのシナジー・シェアUP） +101億円
-  国内事業増（バッテリー車・物流システム等） +51億円
-  円高等による為替換算影響・その他 ▲52億円

営業利益

前年同期比 ▲15.1億円 14.4%減益

-  売上増・MIX・原価低減等 +24億円
-  UCフル連結による影響(のれん償却含む) ▲23億円
UCフル連結（当期通年）▲15億円－前期4Q影響 +8億円
-  円高等による為替換算影響等 ▲9億円
-  減価償却方法変更（定額法）他 ▲7億円

9. 連結営業利益増減要因（2017年度計画 vs 2016年度実績）

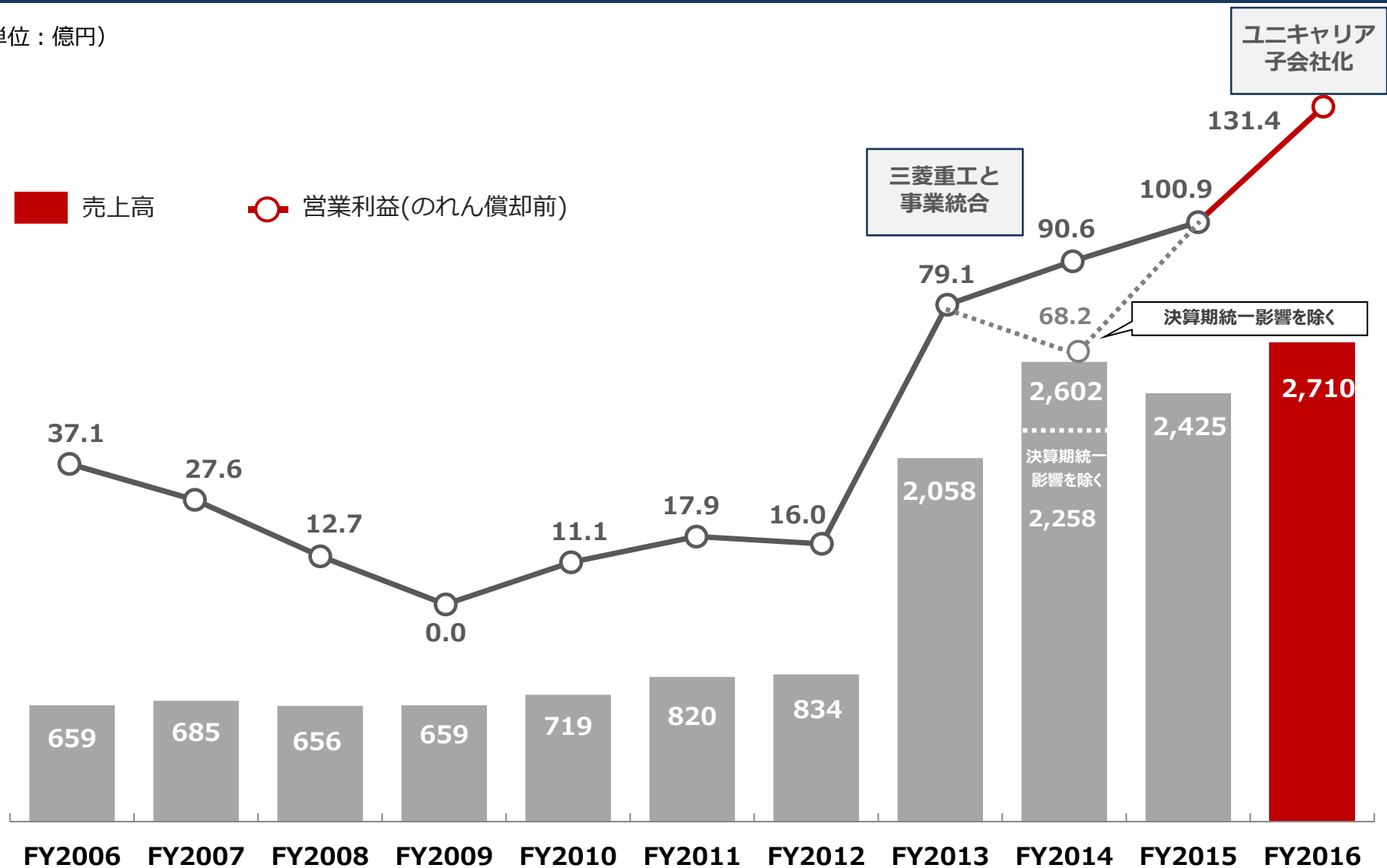


参考資料（主な経営指標）

	指 標	算 式	FY2015	FY2016		コメント
				(のれん償却前)		
総 合	総資本利益率（ROA）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	2.7%	1.3%	(2.2%)	・UCの4Q業績を連結したことで、総資本等が増加 ・のれんの償却により当期純利益が減少したため指数は悪化 (のれん償却前の数値は当期純利益からのれん償却の影響を除外して計算している)
	自己資本利益率（ROE）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	8.4%	6.3%	(10.7%)	
収 益 性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	4.2%	3.9%	4.8%	・UCの4Q業績を連結したことで、売上高が増加 ・のれんの償却により営業・当期純利益が減少したため指数は悪化
	売上高当期利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	1.9%	1.3%	2.2%	
効 率 性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.4回	1.0回	－	
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	5.9回	4.8回	－	
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	4.6回	4.5回	－	
安 全 性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	29.5%	15.8%	－	ユニキャリア買収のための資金を借入金で賄ったことで、自己資本比率、D/Eレシオとも大幅に悪化
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	1.3倍	3.2倍	－	
株 主 関 連	株価収益率（PER）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株当り利益}}$	10.4倍	20.9倍	12.6倍	株価 115期末：460円 116期末：714円
	株価純資産倍率（PBR）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株当り純資産}}$	0.9倍	1.3倍	－	

参考資料（業績の推移）

（単位：億円）



FY2014の連結累計期間は、決算期変更の経過期間であったことから、当社及び従前の決算日が3月末日の連結子会社は12ヶ月間、決算日が12月末日の連結子会社は15ヶ月間を連結対象期間とした、変則的な決算となっています。

参考資料（株価の推移）

(円)



参考資料（会社概要）

商 号	ニチユ三菱フォークリフト株式会社 (Mitsubishi Nichiyu Forklift Co.,Ltd.)
本 社 所 在 地	京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
設 立	1937年8月
資 本 金	48億90百万円（2017年3月31日現在）
事 業 内 容	バッテリーフォークリフト、エンジンフォークリフト、 搬送用ロボット、自動倉庫、WMS※ 等の物流システム商品等の開 発・設計・製造・販売 ※ WMS：ウェアハウスマネジメントシステム
事 業 所	【国 内】 京都・滋賀・神奈川 他 【海 外】 米国・欧州・中国・アジア 他
年 間 生 産 能 力	約115,000台

2017年度経営方針

取締役社長 二ノ宮秀明

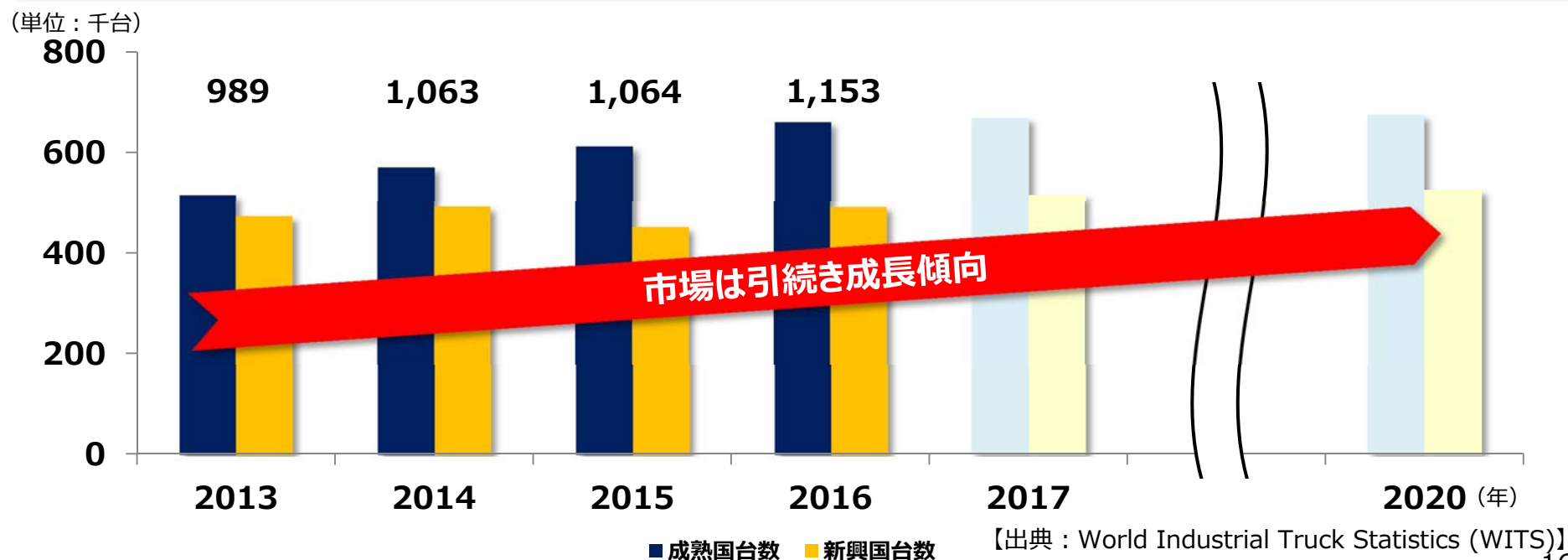
1. 事業環境

経済動向

- 成熟国経済は依然不透明感が強いものの、日米において設備投資が持ち直しつつあるなど、緩やかな景気回復を見込む。
- 新興国経済は中国経済が横ばいから若干上向き傾向に転じ、アジア経済全体も経済改革や政治の安定化により回復基調にある。

フォークリフト市場動向

- 2016年世界市場は成熟国市場の牽引と中国の伸長により前年比8.3%増の1,153千台と史上最高台数を更新。
- 2017年も世界フォークリフト市場は堅調に推移するものと予測。



2. 2016年度 トピックス

経営統合を前提としたユニキャリア社の100%子会社化

- 2017年1月、当社親会社であるM-FET（三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス）保有のユニキャリア社株式を追加取得し、**同社を完全子会社化**
また、シナジーの早期最大化・経営効率化・スケールメリットの追求を図るため、**2017年10月を目標に経営統合を実施することを公表**

新中期経営計画「*Perfect Integration 2020*」公表

- ユニキャリア社との経営統合と当社を取り巻く大きな環境の変化を踏まえ、**新中期経営計画を策定**
- 「経営基盤の強化」と「マルチブランド／グローバル戦略」による本業の事業力UPとシナジー最大化で2020年度**連結売上高4,600億円、同営業利益率7.0%***へ

*のれん償却前

物流ソリューションの推進

- 2016年10月、Jungheinrich社との協業による**高揚高オーダーピッカー車**を**北米市場で投入**し、ウェアハウス機種ラインナップを拡充
- 2016年9月、「**国際物流総合展**」に出展
燃料電池車などの製品展示と物流改善を訴求
- 2016年12月、「**物流ソリューションフェア2016 in神戸**」開催
最新の物流ソリューションと製品展示で物流改善の「解決・ヒント・気づき」を提供



北米向けHIGH-LEVEL
ORDER PICKER

3. 2017年度経営方針

新中期経営計画で設定した基本方針とPHASEをベースに戦略を推進
2017年度は「融合・構築PHASE」として足元を固める一年と位置づける

中期経営計画
基本方針

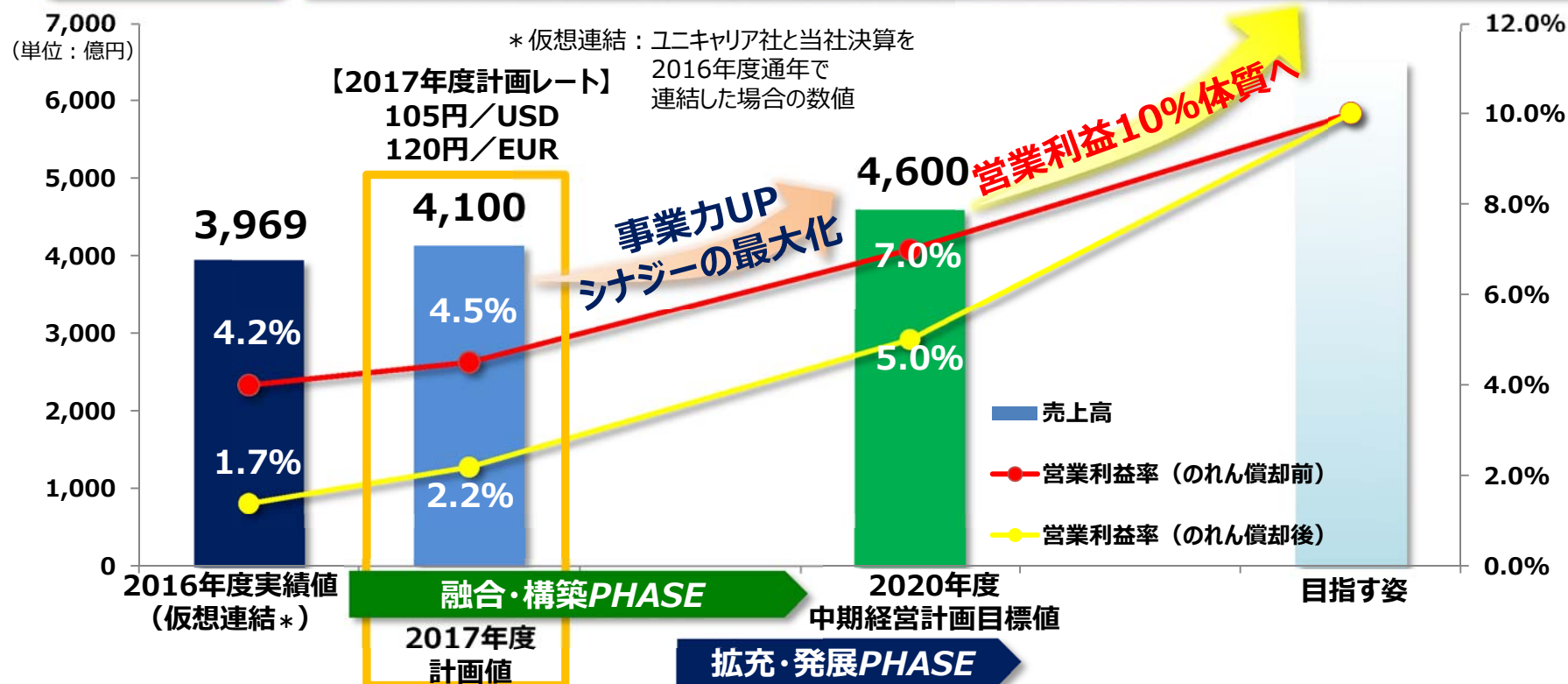
マルチブランド／グローバル戦略による成長

成長を支える経営基盤の強化

2017年度
基本方針

「統合事業基盤の強化」によるシナジーの最大化と事業力UP

「成長分野への取組み」による拡充・発展PHASEの布石



4. マルチブランド／グローバル戦略の推進

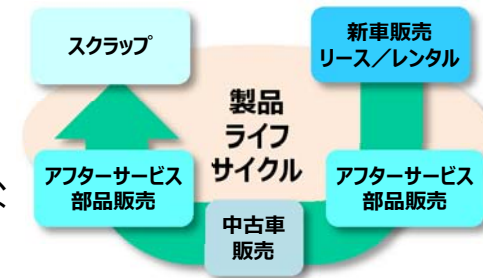
■ 事業強化への取り組み

成熟国市場

- **パーツディストリビューションのさらなる強化**
 - ・2017年6月 テキサス州に新パーツセンターを開設
- **マーケティング力の拡充**
 - ・地域統括機能見直しに着手
- **販売・サービスネットワークの最適化**
 - ・国内拠点の統合を開始（AIを活用した科学的検証＊なども実施）
＊ IBM Watson®など
- **製品バリューチェーンの拡充**
 - ・直販地域を中心に、リース・レンタル、中古車などの多様なお客様のご使用形態とアフターサービスに対応



米インディアナ州パーツセンター



新興国市場

- **地産・地消での製品フルラインナップ化**
 - ・中国国内における広いレンジのお客様と多様なニーズに対応
- **強みを持つ製品への集約**
 - ・アジア地域で一部製品の集約を開始
- **パーツディストリビューションの最適化**
 - ・2017年1月、アジアパーツセンターをシンガポールに統合



ミドルレンジ向け
エンジンフォークリフト

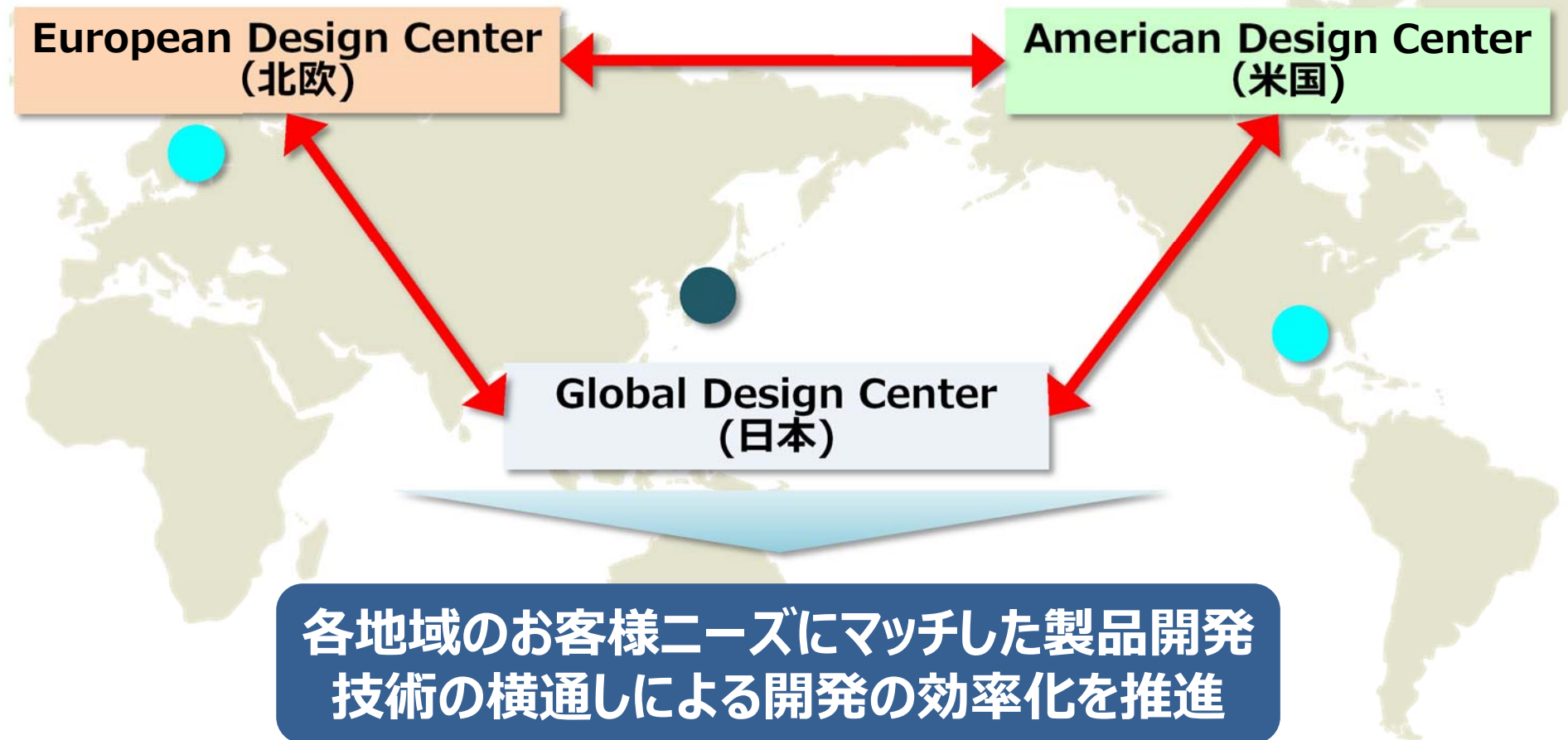


アジア・中国向け
リーチフォークリフト

4. マルチブランド／グローバル戦略の推進

■ 開発体制の最適化

- 両社の開発部門を**グローバルデザインセンター**として集約
- **米国と欧州の新開発拠点**と合わせ、世界3極でマルチブランド／グローバル戦略をサポート



5. 経営統合による基盤強化

経営統合により事業基盤を強化
両社の強みを合わせ機能を補完することでシナジーの早期創出を実現

ニチュ三菱フォークリフト



強み

- バッテリーフォークリフト・物流システム
- ディーゼルエンジンフォークリフト
- グローバルなサービスパーツ供給体制
- 日本・米国市場

ユニキャリア



強み

- 大型フォークリフト・港湾システム
- ガソリンエンジン等の基幹部品
- 特搬車両、建機
- 欧州直販体制、アジア市場

世界トップクラスの総合物流メーカーへ

両社のベストプラクティスを組み合わせ、シナジーを最大化

限界利益の視点

固定費の視点

バランスシートの視点

統合事業基盤の強化

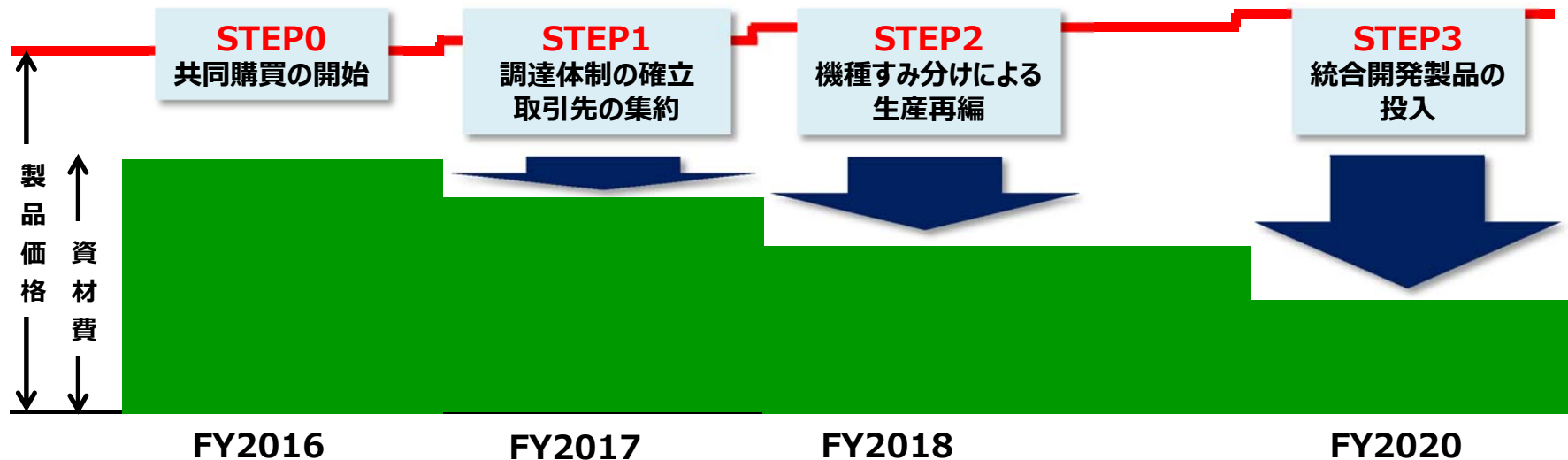
6. 統合事業基盤の強化 – 限界利益の視点 –

■ 調達体制強化によるコスト改革

- 統合による**調達体制の確立・強化**と**機種すみ分け・統合開発製品の市場投入**によりコスト改革を実現

■ 製品付加価値に即した価格設定

- 両社の**機種バリエーション・レンジ**および**機能に応じた価格設定**の見直し



■ アフターサービス・パーツ事業の体制・機能強化

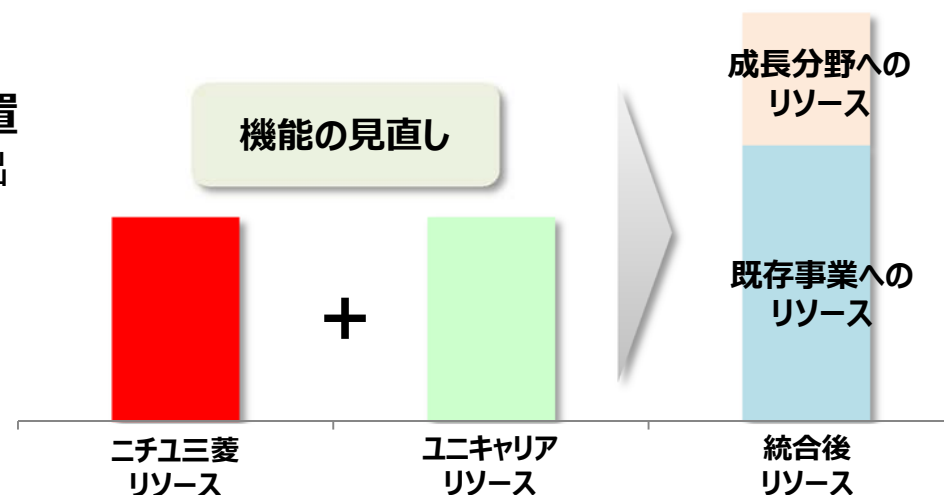
- グローバルでの**パーツディストリビューション最適化**
- 世界各地に展開する両社の**直系サービスネットワーク**を最大限に活用
- 両社**教育プログラム**活用によるサービススキル向上



6. 統合事業基盤の強化 – 固定費の視点 –

■ リソースの最適化

- **最適組織の組成によるリソースの再配置**
・既存事業拡大と成長分野へのリソース創出
- **重複活動のコスト抑制**
・重複活動・ムダを排除し、
効率化を徹底



■ 最適SCM*・最適稼動の実現

欧州	: 3拠点	米州	: 2拠点
日本	: 3拠点	中国	: 3拠点
アジア他 : 1拠点			

機種すみ分けによる生産の再編

**グローバル
最適稼動を実現**

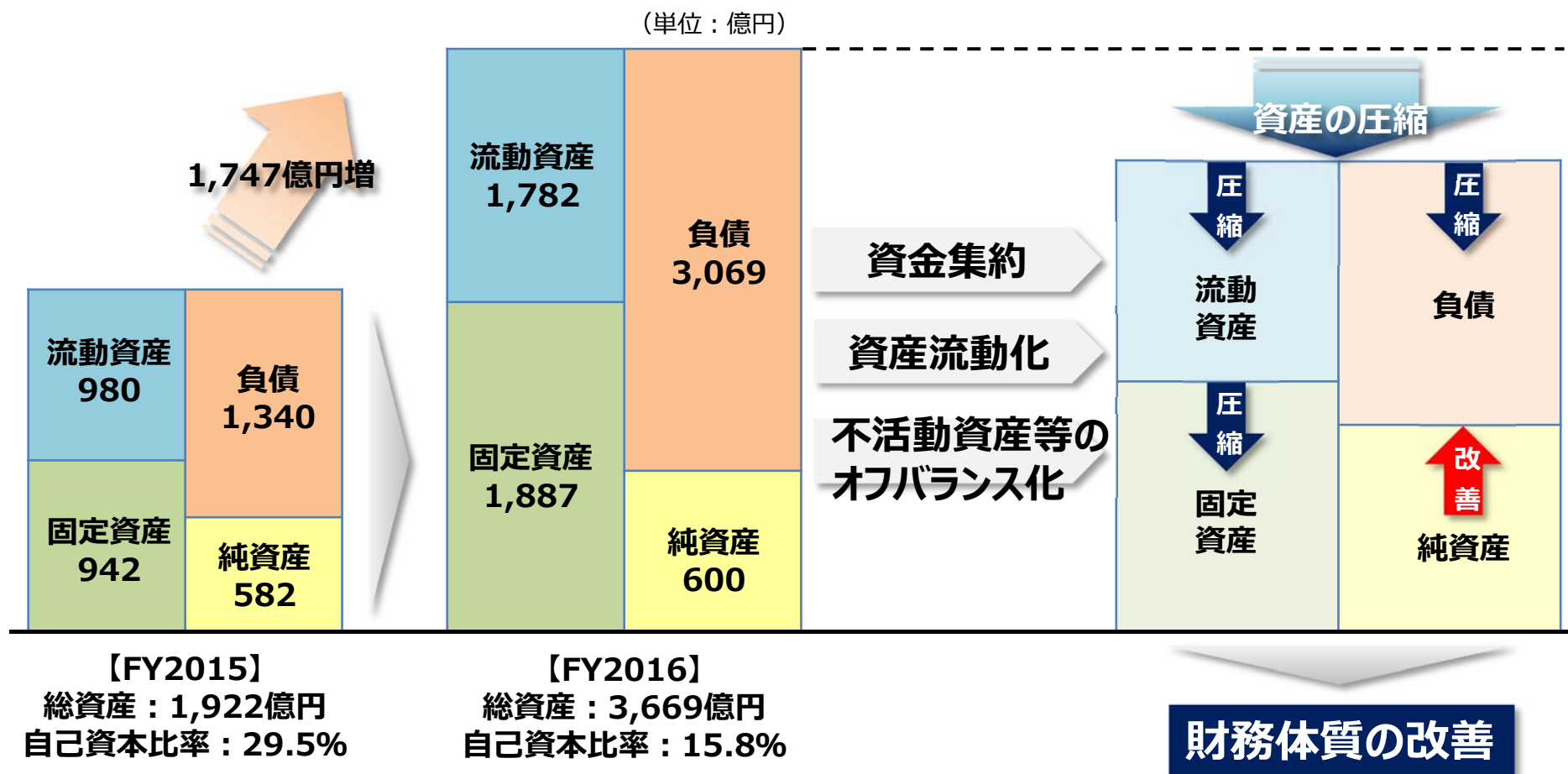


* SCM : サプライチェーンマネジメント

6. 統合事業基盤の強化 – バランスシートの視点 –

■ 資産効率の改善

- アセットマネジメントなどによる**資産の圧縮**で、財務体質を改善



7. 成長分野への取り組み

■ソリューションビジネスの拡大

- 急拡大する「無人化・省人化・効率化ニーズ」に対応



- *1 WMS : ウェアハウスマネジメントシステム
- *2 AGF : Auto Guided Forklift (無人フォークリフト)

- 作業の「見える化」で、生産性向上と効率化を実現

- ・ テレマティクスを利用した車両管理システム



■お客様の安全・安心への取り組み

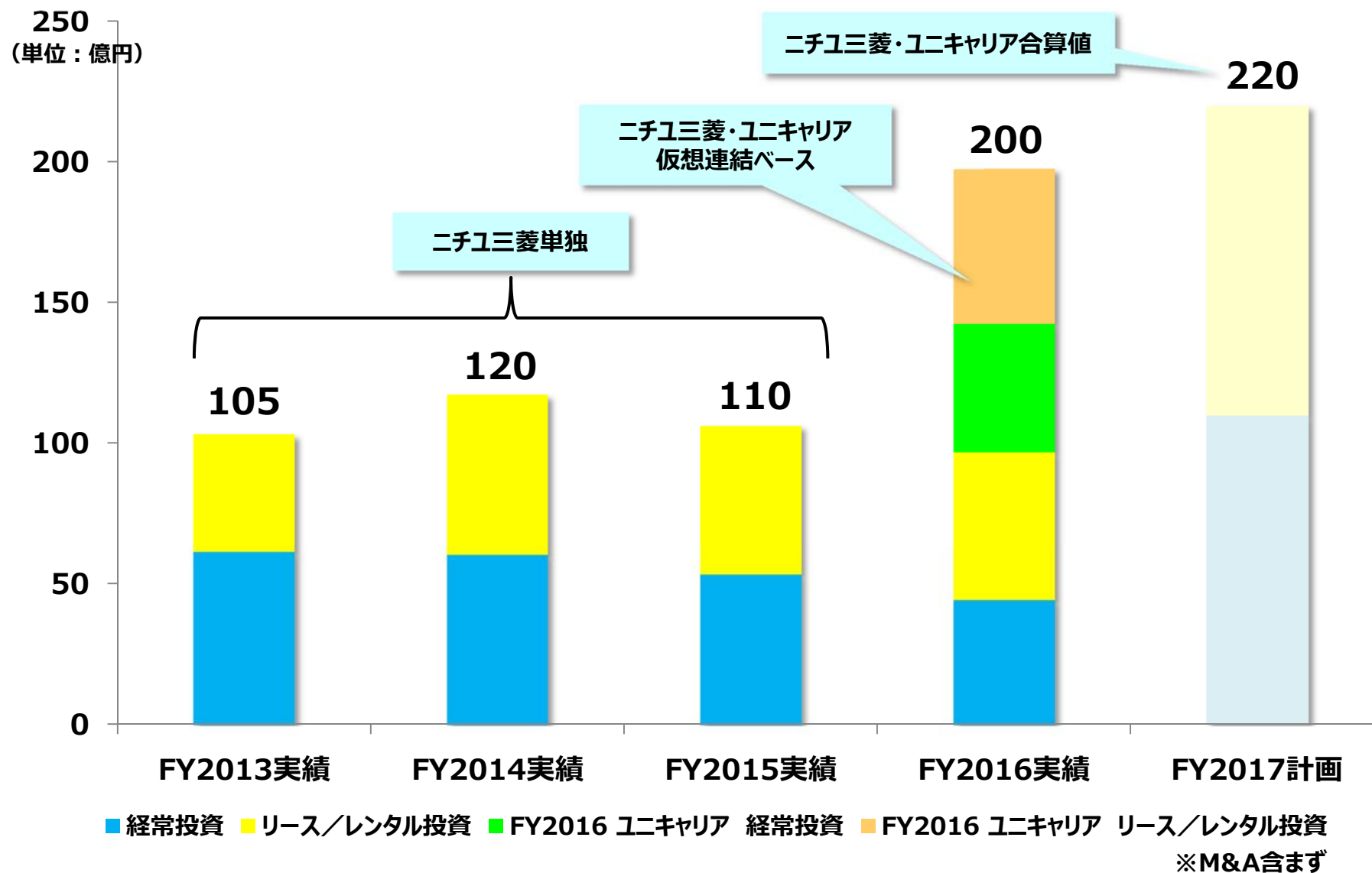
- ・ 物流現場の安全・安心・快適を実現する装備のご提案
- ・ 安全講習会の実施（2016年度国内開催実績**3,042回**）



➡ 中期経営計画「拡充・発展PHASE」へ向け、成長分野への取り組みを強化

<参考資料>

■ 投資計画



注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ

ニチユ三菱フォークリフト株式会社 総務課 松浦、小泉

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-951-7171 FAX : 075-955-3797

<http://www.nmf.co.jp/>